

令和4年12月11日（日） 16時～17時

大島干潟を育てる会の定期活動 12月編

今月の活動は、12月ということで、**季節は冬**です。しかも、干潮時刻は、夕刻ということで、**午後4時の作業開始**となりました。あいにくの悪天候で、大島干潟には、冷たい風が吹きまわっていました。

寒さが、肌を突き刺す中、死力？を振り絞って、作業を行いました。とにかく寒かったです。

【アサリ班の活動】

今回は、**被覆網の張替え**です。3箇所の古い傷んだ網をはがし、網の下の袋に詰めたアサリを回収し、アサリの選別（袋に入っているアサリ以外の貝や泥を取り除く）を行いました。

次に、選別したアサリを蒔き、**新しい網を張りなお**しました。年末を迎え、少しリフレッシュした気分になりました。

【被覆網（ひふくあみ）とは】

アサリ人工稚貝を干潟域で育成する手法の一つとして、ツメタガイやカニ類等による食害、波浪・流れによる稚貝散逸を防止するために砂浜に被せる網のことです。網を被せて、稚貝を保護育成します。



張替えのための新しい網です。漁師でもある会長さんの手縫いの自家製です。



古く傷んだ網をはがしながら、同時に、アサリを入れていた袋を引き上げます。





【カキ班の活動】

今月のカキ情報です。引き続き、中身のあるもの・ないものの選別作業を行いました。まだ、ちょっと小さいと思いますが、中には、もう育っているものもありまして、一つ開けてみました。

ちょっとずつですが、大きくなっていくカキ。毎回、その成長が楽しみです。





【冬の大島干潟】

最後に、冬の大島干潟の風景です。もうすぐ陽が沈みます。
バックの夕陽に照らされた山間の紅葉が、きれいです。

